



※学-Viva：「Viva」は、「生きる」という動詞から生まれた言葉です。三重の「学び場」が生きていくイメージで名付けました。

## ◆特集◆ 4. 19 全国学力・学習状況調査にむけて

全国学力・学習状況調査は、子どもたちの学力や学習状況を把握・分析し、見えてきた成果や課題を検証するとともに、教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てるものです。また、学習指導要領を踏まえた授業が日々実践され、子どもたちが確実に力を付けているかどうかを検証する指標の1つにもなります。子どもたちの頑張りが目に見える形で表れるよう、今、できることに取り組みましょう。

### ●●●各校での取組モデル●●●

3月上旬

#### 「三重の学-viva!!セット 第4弾」

- ◆ 全国学力・学習状況調査に対応したワークシート集（小学校用または中学校用）

##### ●活用例●

- ・年度末の授業で、1年間の総復習として → 今の自分の**学習状況が把握**できる
- ・各領域のワークシートを組み合わせる → 調査と同様の時間配分で問題を解く**ペースが掴める**
- ・春休みの「家庭学習の課題」として → **計画的に学習が進められる**  
→ 時間を確保して**じっくり**取り組める



Let's try!!

4月上旬

#### 学力向上通信「三重の学-viva!!」4月号

- ◆ 平成28年度全国学力・学習状況調査の実施にあたって
- ◆ 県内実践事例紹介 等

学校の要望を受け、来年度のみえスタディ・チェックは**問題用紙等の中央をホッチキスで綴じて**配付します。

4月11日

#### 小中学校長研修会

- ◆ 学習指導要領を踏まえた**組織的な授業改善**を柱とする学力向上のための学校運営について

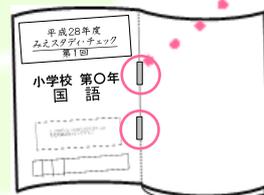
4月19日

#### 平成28年度全国学力・学習状況調査 & 平成28年度第1回みえスタディ・チェック

- ◆ 対象学年：小学校6年生・中学校3年生
- ◆ 実施教科：国語、算数・数学
- ◆ 対象学年：小学校第4学年・第5学年
- ◆ 実施教科：国語・算数・理科

※調査実施後、文部科学省へ送付する前に解答用紙をコピー  
(取り扱いに十分ご注意ください)

- ◆ 対象学年：中学校第1学年  
第2学年
- ◆ 実施教科：国語・数学・理科



4月25日、26日

#### 全国学力・学習状況調査自校採点研修会

- ◆ 「**自校採点→分析→改善**」に結び付ける調査問題を解き、「解説資料」を参考に**採点、分析**

解答類型に分けることで、子どものつまずき・課題を把握

採点を通して、教員が学習指導要領を踏まえた学習内容を理解できる

4月下旬以降

- ◆ 自校採点結果分析から見えてきた課題を踏まえ、**早期からの授業改善の方策**について全教員で協議し、共通認識を図る
- ◆ 課題となった学習内容や領域に対して**重点的に指導**

過去の問題、みえスタディ・チェック、ワークシート等により課題が改善されたか確認を!



# PART 1

## ●平成 28 年度全国学力・学習状況調査の実施にあたって●

～ 4.18 (前日) までにしておくこと ～

子どもたちの力が十分に発揮されるよう次のことを再度確認し、徹底していきましょう！

### ●学校における実施体制の確認

- ・調査責任者（学校長） → 学校における調査の**責任者**として、調査を実施します
- ・学校担当者 → 調査責任者を補佐し、調査実施のための**実質的な作業**を行います
- ・教室監督者（学級担任等） → 調査実施時に各教室において**監督**を行います

### ●「平成 28 年度全国学力・学習状況調査 調査マニュアル」を熟読

- ・**調査責任者および学校担当者**は、校種に応じた「平成 28 年度全国学力・学習状況調査 調査マニュアル」を熟読して、調査の実施手順や方法をよく理解しておいてください。
- ・**教室監督者**は、「平成 28 年度全国学力・学習状況調査 調査マニュアル」とともに、「平成 28 年度全国学力・学習状況調査 調査マニュアル【教室監督者用】」もあわせて熟読して、調査の実施手順や方法をよく理解しておいてください。

## 4 月 19 日までの主なスケジュール

- 2月下旬 ● 「調査マニュアル」等の受取
  - ◆調査責任者は「リーフレット」を活用し、調査を受ける児童生徒及び保護者に対し、全国学力・学習状況調査の目的・内容等を十分周知してください。
- 4月1日 ● 「学校質問紙」等の受取
  - 「学校質問紙」の回答
    - ◆調査責任者は、4月19日までに <https://www.gakuchou.mext.go.jp> から「Webシステム」にアクセスし、学校質問紙の回答を入力してください。
- 4月上旬 ● 「配送・回収連絡FAX」の受取
  - ～中旬 ● 配送部数等の確認（電話）
    - ◆小学校（または、中学校）調査コールセンターより確認の電話連絡がきます。
      - ・「『学校質問紙』は到着していますか？」等
- 4月18日 ● 問題用紙、解答（回答）用紙等の受取
  - ◆配送物を確認し、調査責任者の責任の下で保管してください。
- 調査実施に向けての準備
  - ◆児童生徒に対し調査の目的や内容、調査結果の取扱い等について説明してください。
  - ◆持ち物について連絡してください。
    - ◎HBまたはBの黒鉛筆（シャープペンシルも可、ボールペンは不可）◎消しゴム
  - ◆教室の環境整備
    - ・漢字一覧表等、調査への影響が考えられる掲示物を外す、裏返す等
    - ・調査に適した机の配置
    - ・不要な落書きがないか確認
- 4月19日 ● 「平成 28 年度全国学力・学習状況調査」実施

## 平成 27 年度 ネット DE 研修 新規公開講座のご案内

Let's Click!!



- ● カテゴリ ● ● 学級経営
- ● 講座名 ● ●  
よりよい生活や人間関係を築く特別活動  
～いじめ等の未然防止、学力向上の土壌づくり～
- ● 講師 ● ● 國學院大學 教授 杉田 洋

### ● ● ねらい ● ●

特別活動は、子どもたちの自治的な能力や態度を育て、学力の基盤に必要な望ましい人間関係を築きます。また、いじめや不登校などを未然に防止する役割を果たすなど、子どもたちの成長に欠かせない教育活動です。

本講座では、具体的な実践事例をもとに特別活動の重要性と指導のポイントについて研修します。

## 学ぶ意欲を高め、考える力を付ける授業の推進 ～主体的に取り組む言語活動の工夫～

平成 21 年度に「高槻市授業改善推進モデル校」の指定を受け、学ぶ意欲の向上の研究を行ってきた高槻市立冠中学校。言語活動を中心とした授業、単元全体を見通した授業構成の工夫、生徒も含めた学校全体の研究体制の構築などを行い、生徒の主体的に学ぶ姿を引き出しています。

### 分かる授業の創造

#### プロセス重視の単元案で柔軟な授業づくりを実現

- ◆ **学びのプロセスを重視した「学習指導案」**  
1 単元全体を通して付けたい力と学ぶ内容を設定
  - ・各授業で何を教えるのか
  - ・言語活動をどこで行うのか
  - ・どのように評価するのか

指導と評価の  
一体化を図る

- ◆ **「まなびのプラン」を生徒に配付**

→ 単元の評価規準 + 単元指導案

▶▶▶ **生徒向け**に書く

先を示すことで、見通しをもって学びに向かう姿に！

- 生徒の声 ●
- ・ 予習、復習がしやすくなった。
- ・ 授業の進み方が分かるようになった。

#### 言語活動を中心とした授業づくり

- ◆ 話し合いが活発になるよう一人で考える時間を確保
- ◆ 課題について
  - ①一人で考え、書く
    - ・ まずはじっくり考える
  - ②ペア学習
    - ・ 自分の意見を伝え合う
  - ③グループ学習
    - ・ 多くの観点をだしてみんなで考える
- ◆ 「振り返りシート」に最後に学んだことを記入  
→ しっかり「自己評価」

学習の課題や  
ねらいに応じて導入

#### 「まなびのステップ」で言語活動の質を高める

- ◆ 「聞く」「話し合う」「発表する」それぞれに1～3のレベルを設定 **生徒自身に意識させる**

	レベル1	レベル2	レベル3
聞く	話す人の方に顔を向けて、最後まで聞く	自分の意見と比較しながら聞く	聞き取った内容から、自分の考えを深める
話し合う	目的にそって、みんなで話し合う	互いの考えの共通点や相違点を整理しながら話し合う	相手の発言を大切に話し合い、自分の考えを広げる
発表する	自分の考えを、みんなに届く声で発表する	理由やことがらなどを挙げて、みんなに自分の考えが伝わるように発表する	互いの意見を比較検討し、自分の考えをより深めて発表する

#### 若手中心の組織づくりが学校に活力を生む

- ◆ 「授業改善推進委員会」 → 校務分掌に位置づけ、若く柔軟な発想で新規の改革を！
- 学校長コメント ●  
「教師が自分たちで学校を変えていこうという意識を持てる学校であり続けることが、本校の更なる活力になります。」

- 「授業は自分たちがつくる」～ 生徒の意識に浸透 ～ ●●●●●
- ◆ 研究授業後の研究協議に生徒が参加する「生徒インタビュー」  
→ 研究授業や授業改善の取組に対する意見を述べる

大勢の大人の  
前で発表する  
こと自体が  
言語活動！

# 平成 27 年度課題解決に向けた主体的・協働的な学びの推進事業【学力定着】

平成 27 年度課題解決に向けた主体的・協働的な学びの推進事業【学力定着】（三重県教育委員会）を受け、各学校における教育実践の活性化を図るとともに、子どもたちの生きる力の育成に向け取組を進めてきた名張市教育委員会及び名張市立小中学校の実践を紹介します。

## 名張市立小中学校における年度当初の課題

～平成 26 年度全国学力・学習状況調査より～

### 〈小学校〉

国語 書くことに課題  
算数 数量関係、言葉や式での記述に課題

### 〈中学校〉

国語 考えをまとめることに課題  
数学 数学的事象と日常生活を結び付けることに若干の課題

・・・児童生徒質問紙より・・・

家庭学習の状況、ゲームをする時間やスマートフォン等を使用する時間が長い等の課題

all 名張市で取り組む！

学力向上に向けた重点事項

- 1 めあての提示と振り返りのある授業づくり
- 2 日常的な言語活動の推進
- 3 充実した家庭学習への取組



なばりのナッキー

### すずらん台小学校の取組

- 授業の構造化 めあて、授業の流れ、振り返り
- 集団読書 各学年課題図書を選定  
→算数の文章問題の読解力へと繋げる
- みえスタディ・チェック+2、3年生も過去問に挑戦
- 少人数指導の取組 学級を2つに分けた少人数での授業
- 生活習慣・読書習慣チェックシート } 生活習慣の  
& 生活点検表 (学校オリジナル) } 見直しに効果!

振り返りを意識しためあての設置

### 名張中学校の取組

- 信頼で結ばれる仲間づくり  
「なかま集会」  
集団の質を向上する取組  
「合唱・あいさつ・無言清掃」
- 学級満足度調査の実施  
→生徒の学習姿勢に変化!
- 効果的な少人数指導  
全学年で数学の少人数授業  
& 2、3年生での補充学習
- 「学びのすすめ」を配付  
「受け身的な学習」から  
「自主的な学習」をめざして!

SUT  
(スキルアップタイム)  
の実施

### 梅が丘小学校の取組

- 授業改善 ノート指導、音読指導の徹底
- 学習規律の徹底 学びのスイッチ、学びのルール
- 学びの環境づくり 校内放送の見直し&校内掲示の工夫
- 効果的な少人数指導 (TT) タイミング良く個別指導
- 「家庭学習のすすめ」 学校で統一した学習習慣の確立  
ラミネート加工をして全児童に配付

## 名張市として・・・平成 27 年度名張市における学力向上 3 本の矢

### ● 学習規律の確立 ●

- 1 めあての提示と振り返りのある授業  
考える時間の確保、指導と評価の一体化を
- 2 日常的な言語活動の充実  
各教科・領域において書く活動を中心に
- 3 充実した家庭学習  
学習内容や方法の工夫、  
「家庭学習の手引」等の活用を

### ● めざす子どもの姿 ●

- 学習に、めあてを持って取り組むことができる  
(学習への意欲の向上)
- 思いや考えを、書くことによって表現できる  
(思考力・判断力・表現力の育成)
- 計画を立てて自主的に家庭学習をする  
(学習習慣の確立)

～ 全国学力・学習状況調査の過去問題や、三重の学-viva!!セット等に取り組めます!!～